

多文化共生ってなに？

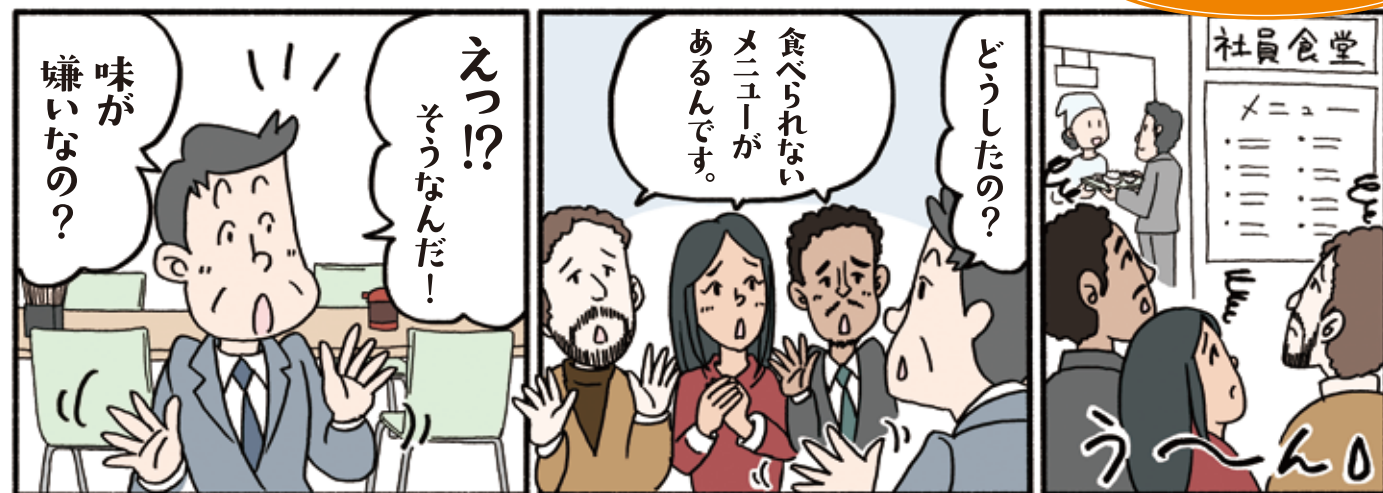
外国人住民が増えてきたことによって、国籍や民族の異なる人々との出会いや交流が、地域、職場、学校など、さまざまなところで見られるようになってきました。「多文化共生」とは、国籍や民族などの異なる人々が、お互いの文化的な違いを認め、尊重し合い、対等な関係を築きながら、共に生きていくことです。

違いを学び、共に変化する関係づくりを！

国籍や言語、宗教、その他の風習や文化、生活のスタイルの違いにより、外国人や外国にルーツを持つ人は日本で暮らしていく上で、不自由を感じることがあります。お互いの文化や習慣などの違いを認め合い、尊重しあう人間関係を築くことで、私たちの暮らしはより豊かになります。

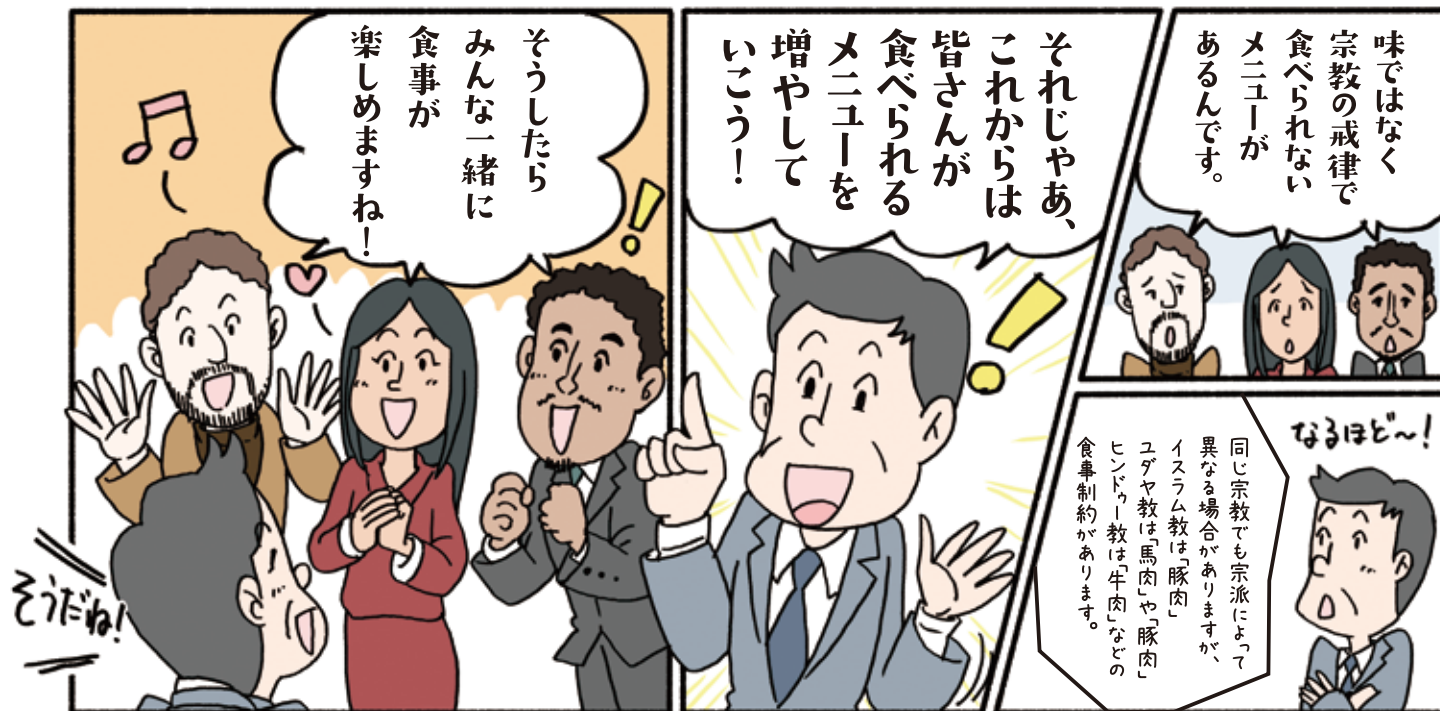
違いを知る

例えばこんなシーン



共に見つける

理解し合う



異なる文化や習慣を持った人は様々な問題に直面しがちです。解決していくには周囲の協力を必要とする場合があります。

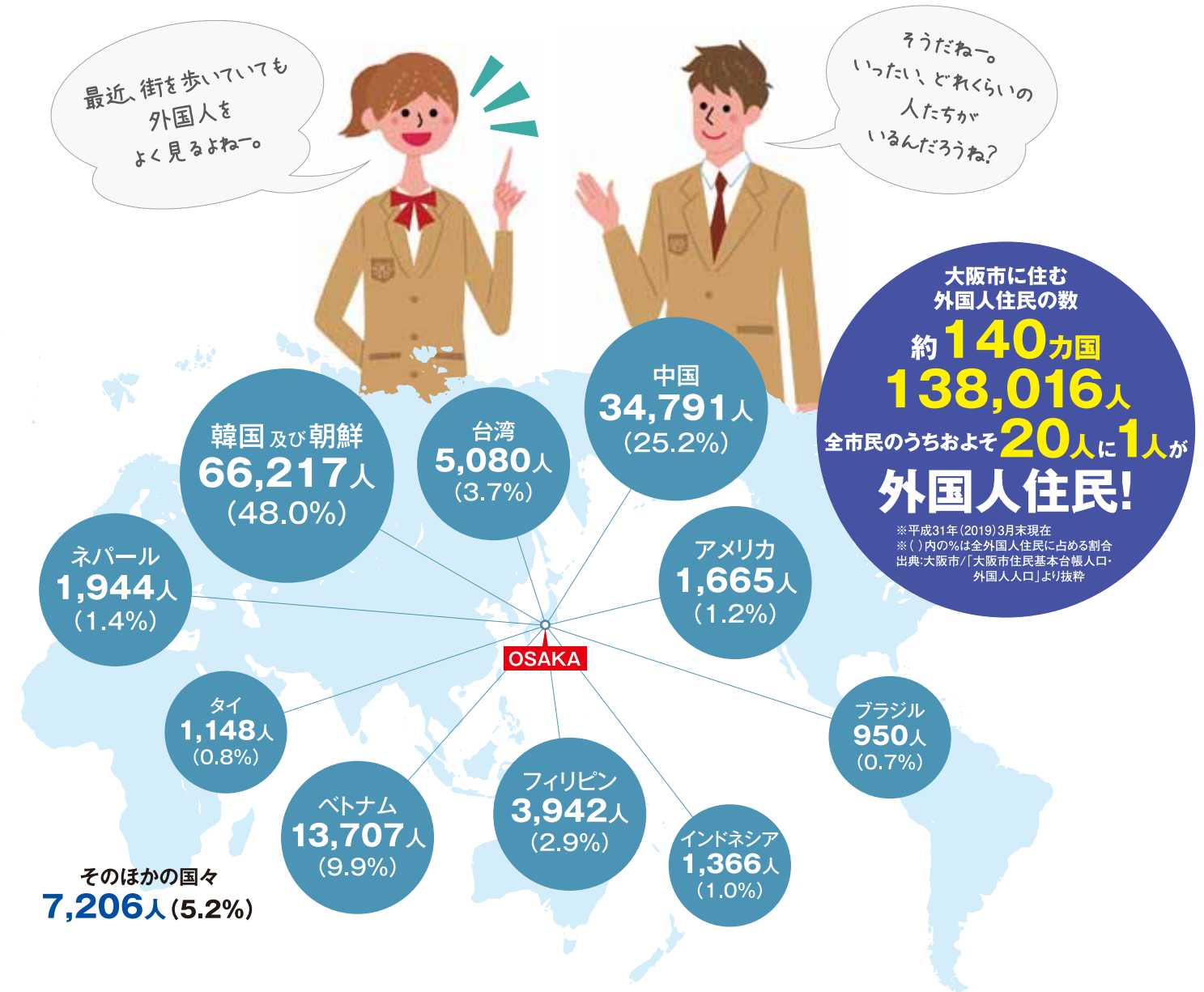


大阪市と世界のつながり

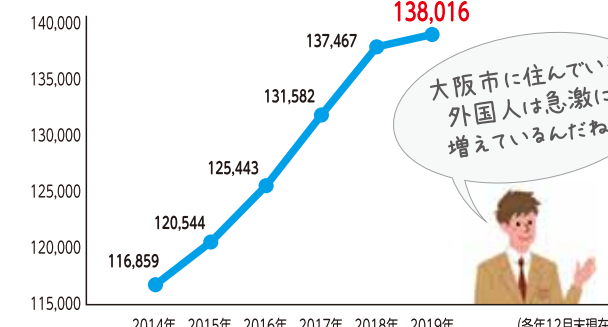
大阪市民のおよそ20人に1人が外国人住民です。これは政令指定都市の中で、最も高い割合です。国籍別にみた場合、「韓国及び朝鮮」が最も多く、次いで「中国」「ベトナム」「台湾」「フィリピン」の順となっており、約140もの国や地域の人が暮らしています。大阪は世界と深いつながりを持った街です。

多文化共生

わかり合うとうれしい! お互いのこと!



大阪市の外国人住民数は5年間で約18%増加



2018年に大阪を訪れた外国人旅行者数は1,142万人

